

平成30年度 家庭総合シラバス(3年生)理系クラス

概要	科目名	家庭総合	学年	3	履修単位	1
	目標	家庭総合の授業では、自分らしい生き方、保育、高齢化社会、住生活、消費者生活などを学習します。家庭を取り巻く環境の変化に対応し、現在の生活や将来の生活を見つめ、各自の生活目標を持つこと。実践的・体験的な学習を通して生活に必要な知識や技術を習得し、各自の生活を工夫・応用していくことができるようになることを目標としています。 今学年では、保育、消費者生活、住生活などを中心に学習していきます。				

学期	授業計画				
	項目	指導事項	時間	指導上の工夫・留意点	
1 学期	家庭総合を学ぶにあたって		2	家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、生活の場で生きて働く力となるよう総合的に習得させる科目であることを理解させる。	
	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動			ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義を理解させ、問題解決への主体的実践的な学習活動であることを理解させる。	
	みんなで育てる	子どもの世界と出会う	1	・保育を学ぶ意義について理解させる。 ・子どもをうみ、育てることの重要性を認識させる。	
	生命の誕生	新しい生命への責任	6	・望まない妊娠をしない・させないことが生命に対する責任であることを理解させ、妊娠についての正しい知識を身につけさせる。 ・妊娠から出産までの母体の変化と胎児の発育、母体の健康管理の重要性について理解させる。 ◎妊婦疑似体験 ◎VTR視聴「赤ちゃんはこんなにすばらしい」	
				出産・子育てのための環境づくり	1
	心身のゆたかな発達を	からだの発達		2	・VTR「乳幼児の保育」を視聴し、子どもの成長過程を理解する。
心の発達			2	・人の一生の発達を見直し、乳幼児保育の重要性を認識させる。また、乳幼児の心身の発達の特徴を理解させる。	
2 学期	子どもの生活を知る	生活習慣の形成と自立 子どもの生活	6	・生活習慣形成や遊びの意義について理解させる。 ◎紙芝居製作	
	消費行動を考える	家庭経済のしくみ	2	・家庭経済と国民経済とのかかわりを理解し、家庭の経済計画、予算計画の必要性を認識する。 ・経済現象に対して、正確な知識や情報を収集し、主体的に判断し行動する態度を身につける。	
		家庭の収入と支出	2	・家庭の収入と支出をとらえて家計の構造を理解する。 ・家庭の生活を支える収入と支出の運営など、家計の管理について理解する。	
		主体的な消費行動	2	・各自が消費者であるという自覚を持たせる。意志決定のプロセスを理解させる。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法などについて理解させるとともに被害にあった場合の問題解決も理解させる。	
		消費者の権利と責任	1	・適切な意志決定や消費行動をとることが消費者の責任であることを理解させる。	
	消費生活と資源・環境	環境に配慮した消費行動	2	・各自の消費行動と環境問題や資源・エネルギー問題との関連について理解する。 ・環境負荷の少ない生活をめざして、生活意識や生活様式を見直し、環境に調和したライフスタイルの確立をはかる。	
3 学期	快適な住まいづくり	住空間のなりたち	2	・平面図を読みとり、その居住性を検討できるようにし、家具の役割と配置、収納の工夫についても考えさせる。	
		健康と安全に配慮した室内環境	2	・快適な室内環境について理解させる。また、家庭内事故や災害について取り上げ、安全な住まい環境について考えさせる。	
		住環境と地域環境	2	・自分の居住地にどんな問題や課題があるか見つけだし、住みやすい居住地にするための解決策を考えさせ、住空間をデザインさせる。	
評価方法	①授業態度 ②定期考査 ③提出物 ④課題 以上を総合的に判断し、評価とする。				
評価 規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	◎授業中のプリントの記入や取り組み姿勢・態度から、家庭生活について関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組んでいる。 ◎実践的な態度を身につけている。	◎授業中のプリントの記入内容や態度、定期考査の結果から、家庭生活について課題を見つけ、適切に判断し、解決方法を考え取り組んでいるか。	◎実習等を通して、基礎的・基本的な技術を身につけているか。	◎定期考査の結果を参考にし、家庭生活の意義や役割を理解し、家庭生活の向上に必要な基礎的・基本的な知識を身につけられたか。	